

A: 本日の研修で印象に残ったこと・内容を記入ください。

### 1 保護者対応の重要性と課題認識

- ・年々、保護者対応が課題となっており、今回の学びは非常に有意義だった。

### 2 質問技法のポイントと注意点

- ・「なぜ?」「どうして?」という質問は責められていると感じさせる可能性があることに気づき、言葉選びの重要性を再認識した。
- ・質問技法が、悩みを聞き出すだけでなく、保護者自身の振り返りにつながることを知った。

### 3 具体的な事例による学び

- ・実際の事例を通じて、適切な言葉がけや対応方法を学び、リアルなイメージで理解できた。

### 4 自己振り返りの機会

- ・熱くなりすぎて思いを押し付けないことの重要性を学んだ。
- ・これまでの保護者対応における話し方や言葉選択を見直し、技法を身につけたいという意欲が高まった。

### 5 保護者支援の基本姿勢

- ・思いを押し付けず、寄り添う姿勢を大切にすることが重要だと再認識した。
- ・情報整理や伝えるタイミングを考えることの重要性を学んだ。

B: 本日の学びや気づきを生かし今後どのように取り組もうと思われませんか。

### 1 保護者対応の基本姿勢

- ・保護者に安心感を与えるため、職員と情報共有しながら丁寧な対応を心がけたい。
- ・子どもの姿や対応を丁寧に伝え、気持ちを受け止める。

### 2 コミュニケーション技法の活用

- ・今日学んだ技法（傾聴・共感・相づちなど）を面談や日常の会話で積極的に取り入れたい。
- ・「なぜ?」「どうして?」の質問は控え、開かれた質問で気持ちを引き出していきたい。

### 3 共感と話しやすい雰囲気づくり

- ・普段の会話でも共感や傾聴を意識し、相手が話しやすい雰囲気をつくっていききたい。
- ・言葉で内容を繰り返すことで、共感や励ましにつながることを学び、実践していこうと思った。

### 4 保護者との丁寧な関わりと気づきの共有

- ・学んだことを整理しながら保護者対応をしていきたい。
- ・丁寧に関わり、保護者と共に子どもの姿からの気づきを共有する。

### 5 自己改善と継続的な取り組み

- ・自分のコミュニケーションの癖を見直し、話しやすい雰囲気づくりを意識する。
- ・職員間や保護者対応、面談など幅広く技法を活用し、丁寧な保育を続けていく。